

「ことりの森」の保育看護目標

- ・それぞれの季節に流行する疾患の特徴を捉え、それに対する適切な保育看護の実践により子どもたちの回復する力を最大限に引き出せるよう支援し、治癒と共に発達成長を促すことが出来る。
- ・回復期における生活習慣の調整や自立を促す配慮と支援を行いながら親にも具体的な助言を行っていく。
- ・日本の文化や四季のイベントを共に実感し、興味を引き出し発想を豊かに表出させることで子ども自身の自信に繋げたり、おとなや同室児との関わりを広げていく。
- ・病気をきっかけに、病気の理解を促すことで自分の体を大切にし、乗り越えたときには何か一つ子ども自身がステップアップできる関わりを大切にする。

- ・薬がある工夫で上手に飲めるようになった。
- ・集中して出来る何かを見つけることが出来た。
- ・同室の子に気遣う姿が見られた。
 - ・鼻をかめるようになった。
 - ・痰を上手に出せるようになり、観察できる。

など、それぞれの具体的な介助法や状況、環境を合わせて記録し両親に報告して行く。